年間授業計画　様式例

高等学校 令和７年度（３学年用） 教科　総合的な探究の時間　科目 家庭科の探究

教　科：総合的な探究の時間　　科　目：家庭科の探究　　単位数：1　単位

対象学年組：第　3 学年　A　組～　F　組

教科担当者：（A組：　岡本　　（B組：岡本　　（C組：岡本　　（D組：岡本　）　（E組：岡本　）　（F組：岡本　）

使用教科書：（　　）

教科　総合的な探究の時間　　の目標：

【知識及び技能】探究の過程において，課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け，課題に関わる概念を形成し，探究の意義や価値を理解するようにする。

【思考力、判断力、表現力等】実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし，自分で課題を立て，情報を集め，整理・分析して，まとめ・表現することができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】探究に主体的・協働的に取り組むとともに，互いのよさを生かしながら，新たな価値を創造し，よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目　家庭科の探究　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
探究の過程において，課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け，課題に関わる概念を形成し，探究の意義や価値を理解している。	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし，自分で課題を立て，情報を集め，整理・ 分析して，まとめ・表現している。	探究に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに，互いのよさを生かしながら，新たな価値を創造し，よりよい社会を実現しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	【知識及び技能】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付けている。また生活を主体的に営むために必要な知識や技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 実社会や実生活と自己との関わりから、問いを見出して課題を立てることができる。情報を集めて多角的に考察して自分のものの見方や考え方を広げ、言葉を通じて他者に伝え合うことができる。また生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決する力を養うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 社会生活における諸課題について、事実をもとに様々な立場や視点から考察し、自分の考えをまとめようとする。また周囲と協働し、自分・家庭・地域の生活を主体的に想像しようとする実践的な態度で臨むことができる。	・ガイダンス テーマ設定 計画・立案指導事項 ・一人１台端末の活用	【知識・技能】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付けている。また生活を主体的に営むために必要な知識や技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 実社会や実生活と自己との関わりから、問いを見出して課題を立てることができている。情報を集めて多角的に考察して自分のものの見方や考え方を広げ、言葉を通じて他者に伝え合うことができている。また生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決する力を養うことができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会生活における諸課題について、事実をもとに様々な立場や視点から考察し、自分の考えをまとめようとする。また周囲と協働し、自分・家庭・地域の生活を主体的に想像しようとする実践的な態度で臨もうとする。	○	○	○	7
		・情報収集と整理・分析 ・「中間発表資料」の準備 ・一人１台端末の活用		○	○	○	7
2学期	【知識及び技能】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付けている。また生活を主体的に営むために必要な知識や技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 実社会や実生活と自己との関わりから、問いを見出して課題を立てることができる。情報を集めて多角的に考察して自分のものの見方や考え方を広げ、言葉を通じて他者に伝え合うことができる。また生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決する力を養うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 社会生活における諸課題について、事実をもとに様々な立場や視点から考察し、自分の考えをまとめようとする。また周囲と協働し、自分・家庭・地域の生活を主体的に想像しようとする実践的な態度で臨むことができる。	・中間発表 ・研究テーマの再構築 ・研究 ・一人１台端末の活用		○	○	○	8
		・研究 ・「研究成果発表資料」と「パワーポイント」準備 ・一人１台端末の活用		○	○	○	8
	【知識及び技能】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付けている。また生活を主体的に営むために必要な知識や技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 実社会や実生活と自己との関わりか	・研究成果発表 ・振り返り					

3学期	実社会や実生活と自己との関わりから、問いを見出して課題を立てることができる。情報を集めて多角的に考察して自分のものの見方や考え方を広げ、言葉を通じて他者に伝え合うことができる。また生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決する力を養うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 社会生活における諸課題について、事実をもとに様々な立場や視点から考察し、自分の考えをまとめようとする。また周囲と協働し、自分・家庭・地域の生活を主体的に想像しようとする実践的な態度で臨むことができる。			○	○	○	3
							合計
							33